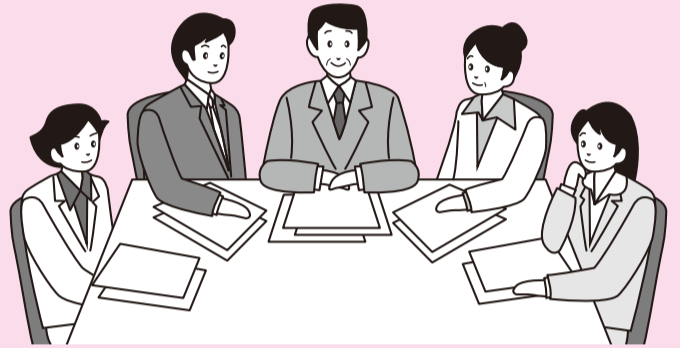


一般質問から

平成26年第2回定例会の一般質問は、6月16日、17日、18日の3日間にわたり、17人の議員が48項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介いたします。

なお、詳しくは、8月下旬に更新予定のホームページをご覧ください。

※議員名の上の番号は、議席番号を示しています。



夏季休業中の学校教育について

Q 市内小中学校において夏季休業中どのような教育活動が行われているかお伺いします。

A 各小・中学校において、様々な教育活動が計画的に行われております。小学校5年生を対象とした林間学校では自然の中で集団宿泊活動を行うことにより、自然に親しみ人間関係や公衆道徳を育む取り組みを行っております。サマースクールと称した補習授業では中学生の学習ボランティアや、地域の方や退職した教員の学習支援も得て、一人一人に応じた学びの支

7番 篠原 亮太

援を行っております。水泳学習は、夏季休業中に学校施設のプールを使用して実施しており、泳力の向上を図っております。更に、市内小学校ハンドボール大会に向けた練習などが実施されております。

夏季休業期間には、普段の学校生活では時間を確保する事が難しい活動について、子どもたち一人一人にじっくり向き合いながら、教育活動を実施しているところがございます。

保育所の耐震診断について

Q 公立保育所の耐震診断の状況はどのようになっているのか、お知らせください。

A 本市では、「建築物の耐震改修促進計画」を策定しており公立保育所の耐震診断は、この計画に基づき実施しています。この計画で対象となる保育所は、階数が2以上で延べ面積が500平方メートル以上の建築物を対象にしていることからこの計画の対象となるのは中央保育所のみです。中央保育所は、平成25年に耐震診断を実施したところ、建物に求められる強度が基

9番 池谷 和代

準を下回っている状況でしたので、当面の対応として、児童の安心・安全を確保するため、避難訓練など、月1回実施しています。市としても今後の対応方法について、耐震補強工事も含め検討しています。なお、他の公立保育所は南川崎保育所を除き施設の築年数が30年以上経過して老朽化していることから、耐震化を目的とした、外壁の改修修繕や室内クロス張替など、修繕を計画的に実施しています。老朽化した保育所は今後も計画的に修繕していきます。

八潮市の適正な学校配置について

Q 現在、市内の適正な学校配置に関して、学校教育審議会が開催されており、間もなく答申が示されます。その後パブリックコメントが行われる予定となっておりますが、教育委員会として今後のスケジュール等は、どのように考えているのか伺います。

A 本市の南部地区は、駅開業に伴う人口増加により、児童生徒数が増加し、今後、教室数の不足が懸念されています。一方、北部地区につきましては、市街化調整区域に指定されていることもあり、八條北小学

13番 朝田 和宏

校では児童数が減少し、すべての学年が1学級という状況になっています。

このように、本市の児童生徒数は、南部地区と北部地区を比較すると、二極化が顕著であり、学校規模に著しい差異が生じています。

今後、教育委員会では、最終答申を基に、地域の実情を勘案し児童生徒の登下校の安全を考慮しながら、通学区域の見直しも視野に入れ、適正な学校配置について具体的な方策を検討していきます。

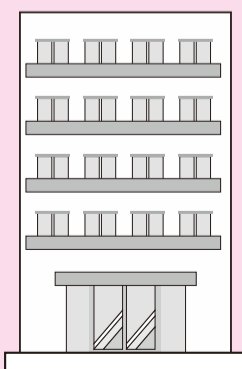
借上型市営住宅について

Q 社会的格差が広がり、住まいの貧困化がすすんでいます。公的な住宅対策の拡充、民間賃貸住宅への家賃補助制度の創設など支援策が喫緊の課題です。

A 春日部市では県内初の民間事業者が建設した賃貸住宅を市営住宅として借り上げる制度を実施しました。市営大曽根住宅の移転など、以前からすすめている調査研究の現状を伺います。

10番 郡司 伶子

現在、経済情勢も厳しく不安定な状況ですので、費用対効果を考え、住宅供給に努めてまいります。



介護保険事業計画について

Q 介護保険は「介護の社会化」を目的に導入され「選べるサービス」と言われてきた。本市の第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画では「60床規模の特別養護老人ホームを整備する」としたが、実現しておらず、この3年間で入所待機者が2倍以上に増えている。八潮市高齢者保健福祉推進審議会答申には「意見、要望」の一つとして「要介護者を支える家族の『笑顔』が見える支援を行うこと」とある。特別養護老人ホームを増やし、入所待機者を減らすことも、家族の『笑顔』が見える支援の大きな要素だと思いがどうか。

2番 高波 幸雄

A 終の棲家となる特別養護老人ホームについては、入所希望者が多く、平成25年度に埼玉県が行った調査で、八潮市の待機者数は249人となっている。

在宅で家族の方が、24時間介護を続ける中であっても、『笑顔』が見える支援を行っていくため、各介護サービスの充実を図るとともに、特別養護老人ホームの整備についても、第6期事業計画を策定する中で、高齢者保健福祉推進審議会委員等の意見を聞きながら検討していく。